

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

企業買収に成功する五つの原則 (P. F. ドラッカー)

1. 企業買収に成功するには五つの簡単な原則がある。第一に、企業買収は、買収される側に大きく貢献できる場合にのみ成功する。問題は、買収される側が買収する側に何を貢献できるかではない。買収する側が貢献できるものは、経営能力、技術力、販売力など、さまざまである。
2. 第二に、企業買収は、買収される側と共通の核がある場合にのみ成功する。共通の核となりうるものは、市場であり、技術である。あるいは、共通の文化である。第三に、企業買収は、買収する側が買収される側の製品、市場、顧客に敬意を払っている場合にのみ成功する。やがて、事実上の意思決定が必要になる。そのとき、製品、市場、顧客への敬意がなければ、決定は間違っただけとされる。
3. 第四に、企業買収は、買収される側に、一年以内にトップマネジメントを送り込める場合にのみ成功する。マネジメントを買えると思うことは間違いである。社長だった者が、事業部長になって満足し切れるわけがない。第五に、企業買収は、最初の一年間に、買収される側の者と買収する側の者を、多数、境界を越えて昇進させる場合にのみ成功する。買収を歓迎されるものに仕立て上げなければならない。
4. 事実上の意味のない買収は、マネーゲームとしてさえうまくいかない。事実上も金銭上も失敗に終わる。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2008年10月4日号)

ワンポイント経営アドバイス

慌てず騒がず我が道を行く

土屋 嘉雄 (ペイシア会長)

1. 波騒なみざいは世の常と言います。服地店の丁稚奉公から身を起こして 50 年、グループ売上高 1 兆円の大台にもうすぐ手の届くまでになりました。成功の秘訣はと問われると、外部の環境や人の言動に惑わされず、商売の本質をとことん貫き通すことだと考えています。商売の本質といっても単純なことです。「商品の回転をよくすること」。これに尽きます。回転をよくするためには、安く売らなければなりません。安く売るためには、あらゆるコストを下げる必要があります。店も立地も地価の高い都心部は避け、田んぼの中の田舎立地。店舗も余計な装飾を省いた平屋建てです。
2. バブル期、大手総合スーパーがこぞって、派手で巨大なお城のような店舗を次々に建てました。その立派な外観を見て、うらやましいなどとはちっとも思わなかった。消費不振が極まって、慌てて格安業態を始める同業者が増えてきましたが、我々は波騒に慌てず騒がず、我が道を行く。そういう信念を持った企業が、結局は勝ち残るものなのです。(参考:「日経ビジネス」:2008年10月20日号)

心・健康・環境について

新たな健康素材 (苦みの成分のホップ)

1. ビールに独特の苦みと風味をつける素材がホップで、ヨーロッパで古く 6 世紀ごろから使われ始めた。ホップにはビールを腐りにくくする働きがあることが判明し広まったそうだ。現代ではホップに由来する健康成分が注目を集めている。ビールの製造過程で、麦芽とホップを煮沸する際に生ずる苦み成分のイソフムロン類には動脈硬化の抑制、血糖値の低減、更にコレステロールや中性脂肪の蓄積を抑制する効果もあるという。
2. ホップは昔からヨーロッパで健康素材として親しまれてきた。ホップの花を使った枕は安眠効果があり、ハーブティーにして飲むとリラックス効果があるといわれる。日本人にはまだ目新しい素材だが、ホップにはさまざまな可能性が秘められているようだ。

(参考:「野村週報」2008年11月10日号)

古典に学ぶ

人身うけがたし

「自分がこの世の中へ人間として生まれて来たことに対して、何ら感謝の念がないということは、つまり自らの生活に対する真剣さが薄らいで来た何よりの証拠とも言えましょう。というのもわれわれは、自分に与えられている、この根本的な思想を当然と思っている間は、それを生かすことはできないからであります」

(参考:森信三「修身教授録抄」:致知出版社)